

# 平成29年度佐久広域連合『時局講演会』実施要項

## 1 開催趣旨

平成29年7月に発生した九州北部豪雨や、平成27年9月に鬼怒川の堤防が決壊するなどの被害をもたらした関東・東北豪雨など、近年大規模な水害が連続して発生しています。

一方、周囲を山々に囲まれ、比較的台風の被害が少ないといわれる佐久地域においても、1742(寛保2)年に「戌の満水」と呼ばれる大洪水災害が発生しており、8月1日に墓参する佐久地域独特の風習は、多くの犠牲者を出したこの災害がきっかけと伝えられています。

河川改修やハザードマップの整備など、現在も各地で様々な防災対策が講じられているものの、今後の気候変動等により、想定を上回る洪水等が発生する懸念が強まっており、「災害を完全に防ぐことはできない」ということを再認識し、地域の防災・減災や危機管理のあり方について、今一度見つめ直す必要があります。

身近な場所において発生した未曾有の災害「戌の満水」で「何が起こったか」そして、先人たちは「どう伝えたか」を学ぶことで、行政のみならず地域全体で災害に対する知識と心構えを共有し、危機管理対策について考える契機となることを期待し、本講演会を開催することとします。

## 2 主 催 佐久広域連合

## 3 開催日時・会場

期 日 : 平成30年2月4日(日)

時 間 : 13時30分～15時30分(開場:12時30分～)

場 所 : 佐久市コスモホール(佐久市下小田切124-1 電話:0267-82-3962)

## 4 講 師

長野県立歴史館 学芸部長 青木 隆幸氏

## 5 演 題

『戌の満水 - その時、佐久では - 』

## 6 参加費 無料(申し込み不要。どなたでも参加可能。)

## 7 定 員 800名

## 8 問合せ先 電話:0267-62-7721 佐久広域連合 事務局 庶務課 企画係